

クイズ:2022 年、わが国の鉄道は[

]周年を迎えました!

S.P.V つうしん

スペースパークボランティアの会

郡山市ふれあい科学館 スペースパークボランティアの会 会誌

第 68 号 2022 年 (令和 4 年) 11 月 発行

福島県郡山市駅前 2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL 024-936-0201



SPV ホームページ



★ 祝 鉄道グループ発足 20 周年

スペースパークボランティアは案内・科学・天文の 3 グループで活動していますが、鉄道グループはこれらのグループが立ち上がる 1 年前、平成 14 年 (2002 年) 6 月に活動が始まりました。22 階展望ロビーにある明治～昭和初期～現代の郡山駅前の移り変わりを紹介した鉄道ジオラマの解説を中心に、鉄道フェスティバルなどを盛り上げてきました。国鉄退職者の総勢 33 名にはじまり、その後、市民の加入もありました。平成 26 年 (2014 年) 2 月に案内グループと統合しましたが、まさに今年、グループ発足 20 周年を迎えました。今年は鉄道に詳しい方の加入もあり、益々発展できればと思います。



鉄道グループ発足 20 周年、おめでとうございます!

(案内グループ・菅野佳子)

★ 鉄道フェスティバルを開催



2022 年 10 月 8 日から 10 日までの 3 日間、恒例の「鉄道フェスティバル」が開催されました。今年は鉄道グループ発足 20 周年、鉄道開業 150 周年の節目であり、何か面白いことをと案内グループは 6 月から準備を進めてきました。

まずは、案内グループが得意とする紙芝居。新型コロナウイルス感染症拡大時から休止していましたが、このたびついに、いつもの展望ロビーで復活。鉄道関係の題目を検討し、「きかんしゃやえもん」と「ちいさなきかんしゃ」を中心とし、その他「ものぐさ太郎」や「唐獅子の話」も取り上げました。「きかんしゃやえもん」は新しい電気機関車に追われ失意にあった古い機関車が最後は大切にもてなされ改めて脚光を浴びるストーリーで、まさに鉄道 150 年の歴史にふさわしいものです。



鉄道写真展



展望ロビーで鉄道関係の紙芝居を披露

今年、案内グループは私のほかにも3名の新会員がおりますが、それぞれ自宅で練習を重ね本番に臨みました。お一方は聞きやすい大きな通る声でゆっくりと話され、もうお一方は機関車の音に合わせて紙を微妙に揺らすテクニックも使われました。お二人とも初めてとは思えない出来でした。ベテランのメンバーは新人を指導していただいたほか、ご出身の山形弁と身振り手振りを加えた円熟の技を披露されておりました。9月に会員になったばかりの方も参加されました。

それから、20階多目的研修室で小島撮影の鉄道写真（SLばんえつ物語特集）を展示し、来場者に解説も行いました（編集部注：構図や風景との一体感、SLの煙の流れまで計算されつくされたハイレベルな写真展でした）。また、メンバー持参の蒸気機関車関係のプレートも写真前のテーブルに展示しました。さらに、展望ロビーの鉄道ジオラマの解説も行っております。2時間ごと、全3回の定時解説のほか、別途口頭での解説も2度試みましたが、通路が狭く双方からお客様が入ってくるので難しさを感じました。

今年は鉄道開業150周年、3日間共整理券待ちの列が階段に及ぶほどの盛況ぶりで何よりだったと思います。案内グループでは新人会員が活躍されたのが好材料で、これを今後に繋げたいと思います。
(案内グループ・小島善一郎)

クイズの答え：150周年

1872年(明治5年)10月14日、新橋駅(のちの汐留駅) - 横浜駅(現:桜木町駅)に日本初の鉄道路線が開業しました。ちなみに郡山駅はそれから遅れること15年、1887年(明治20年)7月16日に現・東北本線の終着駅として開業しました

★新会員が入りました

奥山駿(科学グループ)：友人とビッグアイに来た際に、チラシを見てボランティアに参加しようと思いました。近年、子供たちの理科離れが加速しているという話を聞いたので、来館してくれた方たちが興味を持ってもらえる様に頑張りたいと思います。

生天目恵(科学グループ)：以前から「ボランティア」という言葉に気にかけてはいました。知人のお誘いもあり参加する事となり、不安は沢山ありましたが興味しんしん……。楽しむ心を伝えられる活動をしていきたいと思います。

ほか、案内グループ4名が新しく加わっております(小川莉奈さん、小島善一郎さん、坂本與翰さん、吉井眞知子さん)。紙面の都合上、次回の第69号でご紹介します。

<SPV 今後の予定> 2023年2-3月 SPV 総会、ボランティア祭り(予定)



スペースパークボランティアの会(SPV: Space Park Volunteer)とは・・・

郡山駅前・ビッグアイにある科学館スペースパーク(郡山市ふれあい科学館)を拠点に活動する、市民たちによるボランティア会です。幅広い年代の約80名の会員が案内・科学・天文の3グループに分かれ、科学館内の展望ロビーや常設カウンター、駅前の星空観望会のほか、市内各地の公民館活動や学校行事、地域イベントなどに出席し、また生涯学習を目指しています。まちづくりハーモニー賞受賞団体、星のソムリエ多数在籍。新会員常時募集中です。各種イベントの出展も承っております。